

明德寺報

2025年7月1日

第607号

発行

住職 秦 信明

長浜市木之本町黒田

「お墓まいり」について

前住職 記

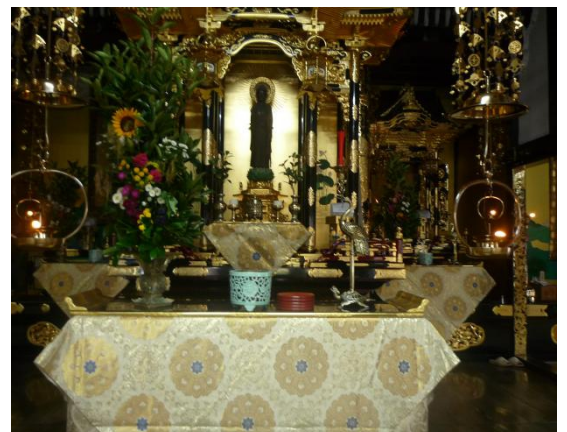
早いもので今年も半分が終わりました。異常気象といわれ梅雨もハッキリとしないまま 初夏を迎えそうです。気が付けばあとひと月半程で「お墓まいり」の行事です。少し「お墓まいり」のことについてお話しさせていただきます。私が生まれました米原市の方では「お墓まいり」という行事はなかったので、黒田に来てびっくりしました。8月12日の午前5時30分から勤まるこの仏事に、早朝にもかかわらず本堂に入りきれないほどの参詣者があり、我が目を疑いました。

「お墓まいり」と言いながらお墓にお参りするのではなく、本堂にお参りされることも不思議でした。なぜこのような仏事が長年継承されてきたのでしょうか。一度考えてみたいと思います。

お墓については、お釈迦様も親鸞聖人も語ってはおられません。親鸞聖人は晩年「某、親鸞閉眼せば、加茂河にいて魚にあたうべし」（改邪鈔）と言われたと伝えられています。しかし、釈尊の御弟子も、遺骨を唯一残された慈悲の表現として仏舎利の塔を各地に建立して、その教えを伝えてきました。親鸞聖人にしても、同様にお弟子たちが聖人のお墓を中心に仏法を聴聞されてきた歴史が、今日にいたっています。本願寺を真宗本廟といっているのも、深い願いと意味のあることであります。

人は両親を縁として生まれ、大地や水と太陽などの恩恵をいただいて生き、遂に大地に帰っていくものであり、これが自然の道理であると教えられていますが、しかし人間には感情や思いがあります。私たちは形を通して亡き人を偲ぶしかないので、敬慕するよすがとしてお墓を尊重し、大切にしてきました。真宗では、特にお墓の形式に決まりはありません。正面の軸石には「南無阿弥陀仏」と刻みます。これは「南無阿弥陀仏」が御本尊であり、お内仏同様にお荘厳とお参りすることが必要だからです。また、お浄土に集う場所との意味から、「俱会一处」とする場合もあります。真宗の門徒も先祖を大切にしますので、そのお墓も大切にしますが、亡き人を敬い、その尊崇の念をとおして、お念仏にあわせていただく機縁を深めることに意味があります。

「お墓まいり」は、亡き人を偲ぶとともに、亡き人のおられる世界（お浄土）を聞き開き、自分の生き方を見つめなおす大切な機会として勤められてきたのだと思います。お骨になったその人は、私と教えとの出遇いを開く道標なのです。今年も8月12日（火）午前5時30分から勤めさせていただきます。皆様と共に、今一度心の耳を傾けて、静かに自身の生き方を考えてみましょう。



「葉刈り作業門徒総出」(お願い)

明德寺葉刈り作業を下記の通り実施します。ご多用の中恐縮ですがご参加くださるようお願いいたします。当日小雨程度なら決行いたします。もし降雨で中止する場合は、有線放送でお知らせいたします。

尚、当日「物打ち」もよろしくお願いいたします。

***日時 7月6日(日)
午前8時より**

*葉刈り等のできる道具を持参ください。

*「物打ち」は、雨天中止の場合でも本堂で行います。



女性部総会終わる

6月22日(日)午前10時より、2024年度女性部定期総会を開催しました。真宗宗歌斉唱の後、住職の導師の下で正信偈のお勤めをしました。その後小林部長、住職の挨拶があり、2024年度事業報告並びに会計決算報告がなされ、異議なく承認されました。続いて2025年度事業計画並びに予算案について審議され、質疑の後承認されました。

最後に役員選出についての一部規約改正について上程され、いろいろな意見が出ましたが承認されました。議案審議の後、住職が映像で親鸞聖人らの関係するクイズを出され、真宗入門講座のような楽しい学びの時間となりました。

7月2日から【長浜別院「夏中」のご案内】(午前中)

午前6時 (暁天講座)

午前9時 (夏の御文拝読・法話)

7月2日(水) 伊吹勇真氏(湖北町河毛・願正寺)

竹中慈祥氏(米原市上多良・真廣寺)

3日(木) 達伊優香氏(三田町・傳正寺)

山田隆夫氏(小谷上山田町・禮信寺)

4日(金) 増田和佳子氏(新庄番場町・誓傳寺)

林 憲淳氏(不破郡垂井町・寶光寺)

5日(土) 藤本 智氏(湖北町猫口・浄福寺)

光明祐寛氏(長浜市難波町・養本寺)

☆お問い合わせは長浜別院 ☎62-0054 まで ☆マスクの着用は各自の判断でお願いします。

8月5日から【五村別院「夏中」のご案内】(午前中)

午前6時 (暁天講座)

午前9時 (夏の御文拝読・法話)

8月5日(火) 三山 岳氏(米原市池下・真勝寺)

谷 大輔氏(草津市矢橋町・良覚寺)

6日(水) 古松了真氏(高月町持寺・頓念寺)

富田正孝氏(米原市井之口・聴信寺)

7日(木) 曾我朋子氏(米原市一色・等倫寺)

興法慶実氏(敦賀市古田刈・隆法寺)

8日(金) 藤森了英氏(高月町落川・真西寺)

佐々本尚氏(福井県鯖江市・専光寺)

☆お問い合わせは五村別院 ☎73-3133 まで ☆マスクの着用は各自の判断でお願いします。

乗如上人「ご巡在」が勤まる

6月13日（金）午後7時から明徳寺本堂で、乗如上人ご回向「ご巡在」のお勤めをいたしました。本願寺第19代住職の乗如上人のご縁をいただき、230年余相続されてきた湖北地方に残る仏事です。

天明8年に起きた京の都を焼き尽くす大火によって、本山も類焼し両堂を含めほとんどの建物が焼失しました。その再建のために湖北門徒が11年もの間、物心両面にわたって大いに支援してきたこともあって、再建途中でご命終された乗如上人の御影を二幅落慶時に下付されたことから、乗如

上人の御影を各村から村へお迎えして法座が開かれています。湖北地方にこうした法座が今でも相続されていることに「土徳」の深さを感じます。

午後7時から老院の導師で、約30人の参詣者とお勤めをしました。お勤めの後御文の拝読があり、老院から「ご巡在」の由来や願いをお話しました。

翌日は午前8時から住職の導師の下でお勤めをし、その後、余呉町今市のお寺へお届けいたしました。当番の4組の皆様には、連日お手伝いやお世話になりありがとうございました。心より御礼申し上げます。

日曜学校「夏のつどい」のご案内

日時 8月8日（金）午後1時30分～
9日（土）午前中（1泊2日）の予定

会場 明徳寺本堂・書院・駐車場

【内容】 お勤め、探検ゲーム、宝探し、バルーンアート、むかし遊び、ヨーヨー釣りとスーパーボールすくい等 夕食はカレーライス、夜は花火大会をします。泊まれない人は、夜帰宅していただき、翌日参加してください。昼食は流しソーメンです。

＊詳細については、追ってお知らせいたします。

参加希望やお問い合わせはお寺へご一報ください。以上の内容は、都合により変更する場合がありますのでご了承ください。小学生のご参加をお待ちしております。申し込み締め切りは、8月3日です。



昨年45回「夏のつどい」参加者

7月の行事予定

期 日	曜 日	時 刻	行 事 内 容
5	土	19 : 30	女性のつどい
6	日	8 : 00	日曜学校
		8 : 00	葉刈り作業 門徒総出
		8 : 00	物打ち
10	木	11 : 00	組合唱団「山河サンガ」総会
13	日	8 : 00	日曜学校
		9 : 30	組門徒会研修会
20	日	8 : 00	日曜学校
26	土	19 : 30	責任役員・総代会
27	日	8 : 00	日曜学校
28	月	10 : 00	親鸞聖人御命日のつどい

* 7月の「紫雲朋の会」は都合により休みます。

* 8月3日（日）は午前8時から「すす払い」で、当番は5組・6組です。
午後1時から「磨きもの」で、世話方・婦人部役員・総代の皆さんです。
ご予約くださるようお願いします。

明徳寺ホームページ
 <http://myoutokuji.main.jp>

